

九州エリアで『スマートハイムシティ・プロジェクト』本格稼働！

— 災害に強いまちづくり、安心・安全なまちづくりを実現 —

2013年9月12日

セキスイハイム九州株式会社

セキスイハイム九州株式会社（代表取締役社長：黒木和清、本社：福岡市中央区高砂2-8-1）では、太陽光発電システム（以下、PV）と独自のコンサルティング型ホームエネルギーマネジメントシステム（以下、HEMS）「スマートハイム・ナビ」、定置型大容量リチウムイオン蓄電池「e-Pocket（イーポケット）」の3点セットを搭載する「進・スマートハイム」による分譲住宅事業『スマートハイムシティ・プロジェクト』を九州エリアで本格展開いたします。

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー（プレジデント：高下貞二）では、全国的な分譲事業強化策として「進・スマートハイム」によるまちづくり「スマートハイムシティ・プロジェクト」を展開し、販売量の拡大に努めております。セキスイハイム九州株式会社では、この一環として、「災害に強いまちづくり」、「安心・安全なまちづくり」の実現に向けて『スマートハイムシティ・プロジェクト』を積極的に展開することとなりました。

具体的には、大容量PVによる「創エネ」と、PVで発電した電力や深夜電力を貯める蓄電池による「蓄エネ」、さらには電力の需給状況を「見える化」するHEMSによる「省エネ」を可能とした「進・スマートハイム」^{※1}による街づくりを実施します。お客様にとっては環境に優しく、光熱費が少ない経済的な暮らしを享受できるほか、非常時の停電でも電力を一定時間確保できることなどがメリットとなります。さらに、住戸や道路・公園計画による防犯への取り組みや、住民同士のコミュニティ形成の促進による「減災」への取り組みなど、他の分譲地と差別化できる新たな要素を盛り込んだ価値ある街づくりを推進します。

※1 九州エリアにおける「進・スマートハイム」は、お客様に高い評価を頂いており、昨年6月の発売から今年8月までに累計で約1,000棟を販売しています。

九州エリアの『スマートハイムシティ・プロジェクト』の特長

1. PVとHEMS、蓄電池の3点セットを標準搭載

セキスイハイムでは搭載実績 業界No.1[※]を誇るPVの効果を最大限に活かし、家全体で省エネを実現するために、住まいのエネルギー（電力）を「見える化」するHEMS「スマートハイム・ナビ」を搭載、各居室の使用電力をわかりやすく表示し、消費電力のムダを簡単に把握できるようにしています。さらに、大容量PV（4kW以上を推奨）で発電した電力や、深夜電力を蓄電池に貯めることで電力需要のピークカットに貢献できるほか、災害等により発生する停電時でも二日程度、電力を確保できるシステムを確立しています。当社ではこれら3点セットにより、通常時は省エネで経済的な暮らし、停電時にも安心・安全な暮らしをご提供します。

2. 独自のまちづくり手法を導入し、資産価値の向上を目指す

現在進行中の『スマートハイムシティ・プロジェクト』第1弾の分譲地では、セキスイハイムがマスタープランを作成し、開発・分譲する宅地です。お客様のニーズと現地のニーズに合った住まいづくりをトータルプランニングすることで、資産価値の高い街並みと住まいの提供を実現いたします。さらにセキスイハイムが土地の仕入れから造成を集中して行うことで、コストパフォーマンスに優れた、質の高い宅地を提供します。具体的には「災害に強いまちづくり（減災）」、「安心・安全なまちづくり（防犯）」という考え方にに基づき、街全体をトータルにプランニングし、資産価値の維持・向上を図ります。また、住人同士のコミュニケーションを促す「コミュニティ・グリーン」という取り組みを実施。隣地との視覚上のグリーン共有や季節感を演出する植栽を共通して施すことで住民の交流を促すほか、住人専用の共同菜園を配置する予定です。こうした地域の円滑なコミュニケーションは、防犯や災害時にも大きな役割を持ち、安心・安全な街づくりにつながります。

※2 2012年2月に「ソーラー住宅建設棟数No.1」としてギネス世界記録TMに認定。2013年2月28日付でこれを更新しました（2012年12月末時点で124,413棟）。

九州エリアの『スマートハイムシティ・プロジェクト』の特長

1. PVとHEMS、蓄電池の3点セットを標準搭載

東日本大震災以降、住まいの耐震性や安全性、節電や省エネといったエネルギー関連についてお客様の関心が高まっています。九州エリアの『スマートハイムシティ・プロジェクト』では、以下のような取り組みを行うことで、安心・安全かつエネルギー・環境問題にも配慮した街づくり、さらには長期にわたる高い資産価値の維持を目指しています。

①太陽光発電システムを全戸に搭載

全戸に大容量PV（4kWタイプ以上を推奨）を搭載します。これにより、平常時は環境に優しく、経済的な暮らしを可能とする一方、停電時（昼間）でも一定量の電力を確保することができ、余った分は蓄電池に貯めることもできるようにします。

②「スマートハイム・ナビ」を搭載

PVとセットで、システムの効果を最大限に活かし、家全体で省エネを実現するために、住まいのエネルギー（電力）を「見える化」するコンサルティング型HEMS「スマートハイム・ナビ」を搭載します。各居室やエアコンなどの使用電力をわかりやすく表示するとともに、コンサルティングサービス「スマートハイムFAN」と組み合わせることで、消費電力のムダを簡単に見つけ効果的で効率的な節電生活を送れるようにサポートします。

③利用しやすい系統連系タイプの定置型リチウムイオン蓄電池

リチウムイオン電池「e-Pocket」は屋外に設置するタイプです。比較的小型であり、充電までに要する時間は3～4時間程度です。蓄電池をPVも含む電力網に系統連系することで充放電の切り替えなどを自動化しており、お客様に操作上の負担をかけないように配慮。また、停電時にも自動で蓄電池から電力が供給されるように切り替わります。

このほか、電気自動車（以下、EV）用コンセントも全邸標準搭載し、将来のEVやPHV（プラグインハイブリッド車）普及に備えます。また、メンテナンス費を削減するタイル外壁などセキスイハイムならではのエコロジーな設備仕様もご用意しています。

2. 独自のまちづくり手法を導入し、資産価値の向上を目指す

九州エリアの『スマートハイムシティ・プロジェクト』は「災害に強いまちづくり（減災）」、「安心・安全なまちづくり（防犯）」という考え方に基づき、福岡県を皮切りに九州各エリアへ順次展開してまいります。

①災害に強いまちづくり（減災）

第1弾の福岡県では、共同菜園によるコミュニティの形成が特長。共同で栽培から収穫を行うことで、世代を超えた住民同士のコミュニケーションを促進します。さらに、収穫したものを料理して食べるという貴重な体験は、食育の観点から子供達の心身および人格の成長に役立つと考えられます。さらに、災害時には公園と菜園が地域の避難場所となるように配置しており、「災害に強いまちづくり」を実現します。

②安心・安全なまちづくり（防犯）

各区画にはお客様から長く愛される上質な街づくりを目指し、「コミュニティ・グリーン」という手法を導入します。住人の一人ひとりが玄関先などを利用して緑を育み、植物を通じて気軽に話しかけられる環境をつくることで、会話が生まれ近所付き合いが始まります。それが分譲地全体に広がることで良好なコミュニケーションが醸成されます。こうした地域のコミュニティが災害時はもちろん、防犯の面では大きく役立ち、「安心・安全な街づくり」を実現します。

セキスイハイムはお客様のニーズと現地のニーズに合った住まいづくりをトータルプランニングすることで、資産価値の高い街並みと住まいの提供を実現いたします。

<セキスイハイム九州グループ 会社概要>

設 立：1973年2月
資 本 金：3億円（積水化学工業 100%出資）
代 表 者：代表取締役社長 黒木和清
売 上 高：523億円（2013年3月）※グループ連結
従 業 員 数：1022名（2013年3月）※グループ3社含む
事 業 内 容：高度工業化ユニット住宅セキスイハイム（鉄骨系）・ツーユーホーム（木質系）の販売、
生産・施工からアフターサービス、および不動産・インテリア等の周辺事業
事 業 所：本社（福岡市）、福岡支社（福岡支店、集合住宅支店）、西支社（九積支店、長崎支店）、
南支社（熊本支店、鹿児島支店、宮崎営業部）、北支社（北九州支店、大分支店）
関 連 会 社：セキスイファミエス九州株式会社 九州セキスイハイム不動産株式会社
九州セキスイハイム工業株式会社
本社所在地：810-0011 福岡市中央区高砂 2-8-1（オヌキ高砂ビル 6F）



スマートハイムシティの街並みイメージ

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

■セキスイハイム九州株式会社

営業部 岡村 TEL：092-533-8071

〒810-0011 福岡市中央区高砂 2-8-1 オヌキ高砂ビル 6F